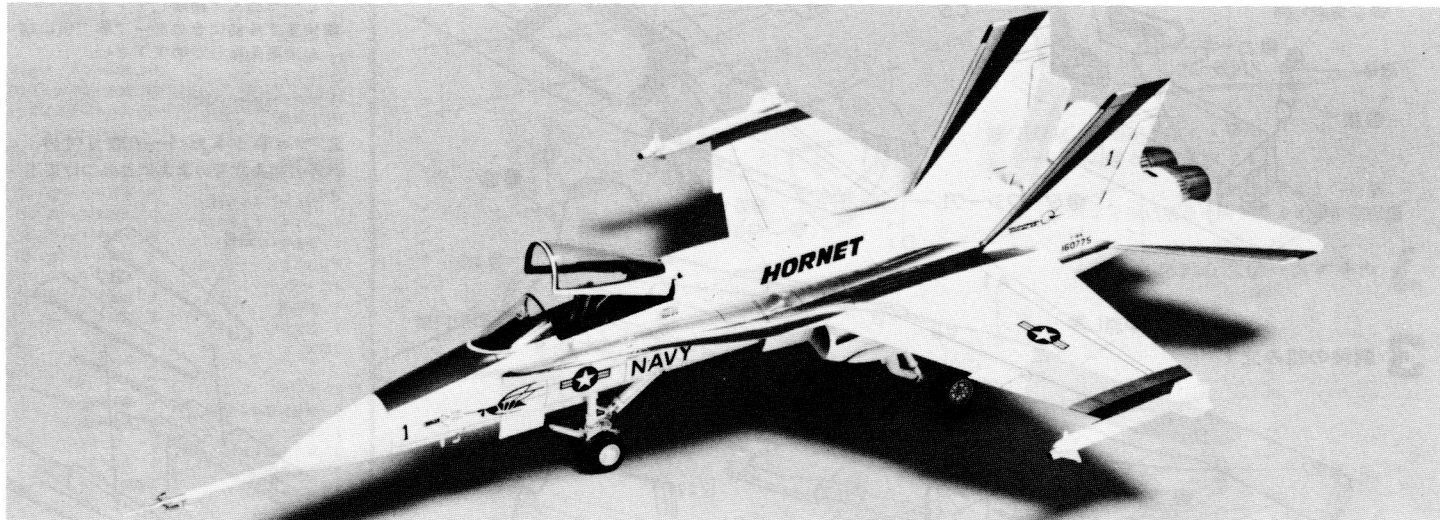


MCDONNELL DOUGLAS F-18 HORNET

1/72 スケールシリーズ

マクダネル・ダグラス F-18 ホーネット

Hasegawa
ハセガワ



《F-18Aホーネットについて》

F-18Aホーネットは現用のF-4ファントムIIやA-7コルセアIIなどの後継機として登場した、アメリカ海軍/海兵隊の次期艦上戦闘/攻撃機で、F-14トムキャットの支援機としても重要視されている1980年代の新鋭機です。

1974年アメリカ海軍は、次期艦上戦闘/攻撃機の開発を目的として、VFAX計画を発表しましたが、予算の都合で中止となり、その代りに、アメリカ空軍の次期軽戦闘機を、新しく海軍の艦上戦闘機に転換する計画をたてました。この候補になったのがジェネラル・ダイナミクスYF-16とノースロップYF-17で、審査の結果、YF-17に数々の改修を施したF-18が選定されました。この改修には艦上戦闘機の設計、製作に多くの経験と実績をもつマクダネル・ダグラス社があたり、ノースロップ社は開発と生産に協力することになりました。このため機名も主契約会社の名をとって、マクダ

ネル・ダグラスF-18Aホーネットとなり、1976年に11機の量産開発機が発注されました。

このF-18Aの1号機は1978年9月13日マクダネル・ダグラス社のセントルイス工場で完成し、原型のYF-17に較べると機体の各部に各種の改修がなされ、立派な艦上戦闘/攻撃機として生まれ変わりました。エンジンは推力の大きなものに換装され、燃料タンクの増設により、航続距離も延長されました。主翼や尾翼、ストレーキも一回り大きなものとなり、主翼と尾翼の前縁には、ドック・トウースが新設され、主翼は折りたたみ式になりました。操縦装置もフライ・バイ・ワイヤ方式が採り入れられ、前脚にはカタパルト発射用のトーパーがつき、アレスティング・フックも装着されました。武装接点も合計9ヶ所になり、最大武装搭載量も5.9tから8.6tに増加しました。また、F-18Aには航法および作戦任務を正確かつ敏速に行なうために、進歩した各種の電子装置や自動装置が完備

されています。

生産型には、主力のF-18A艦上戦闘機と対艦攻撃を主眼とするA-18A艦上攻撃機、少数のTF-18複座練習機や輸出型、陸上基地用のF-18Lなどが予定されています。航空母艦への配備は1982年頃からといわれています。

《F-18Aホーネットの一般データ》 乗員1名、全長 17.07m、全幅 11.43m、全高 4.51m、主翼面積 37.16㎡、エンジン ジェネラル・エレクトリックF404-GE-400ローバイパス・ターボジェット 推力 7,200kg×2 (A/B使用)、最大速度 マッハ1.8以上、最大離陸重量 19,960kg、戦闘上昇限度 15,240m、戦闘行動半径 740km (増槽なし)、離陸滑走距離 305m以内、武装M61 20mmバルカン砲×1、サイドワインダー×2、スパーロー×2～6、主翼下4～6カ所のパイロンに合計8,618kgの各種兵装の搭載が可能。

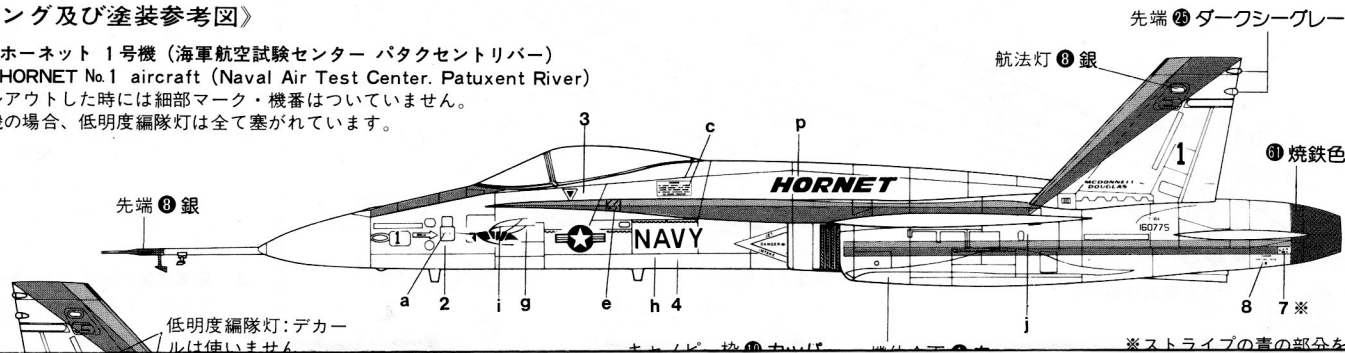
《解説 野沢 正》

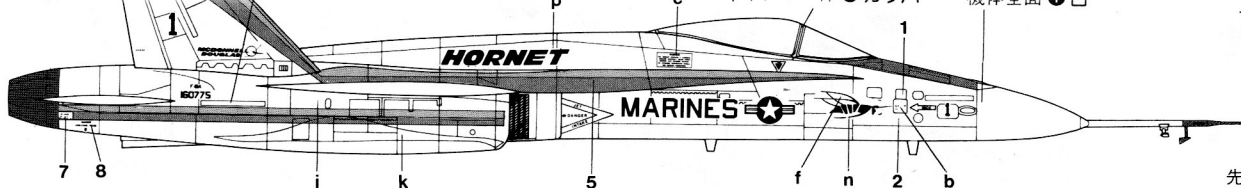
Marking & Color Painting Guide

■塗料の指定はモデルカラーおよびグンゼカラーです。

《マーキング及び塗装参考図》

- F-18A ホーネット 1号機 (海軍航空試験センター パタクセントリバー)
- F-18A HORNET No.1 aircraft (Naval Air Test Center, Patuxent River)
- ロールアウトした時には細部マーク・機番はついていません。
- 1号機の場合、低明度編隊灯は全て塞がれています。



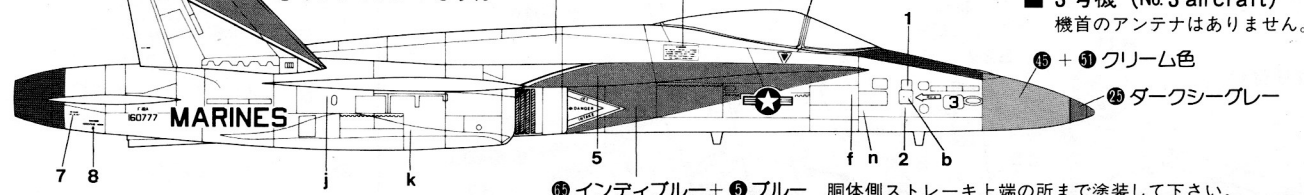
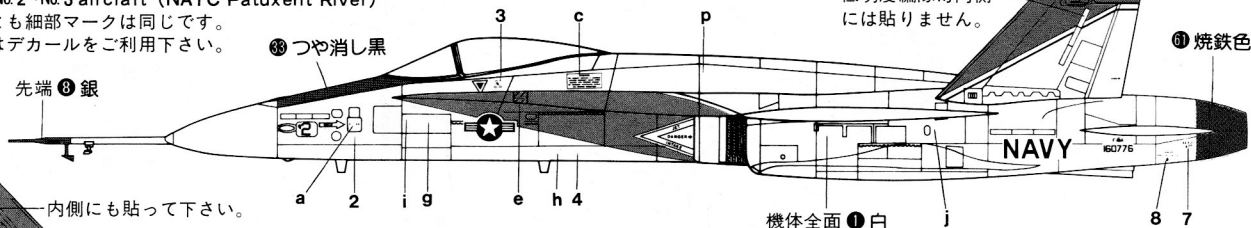


■ F-18A ホーネット 2・3号機 (海軍航空試験センター パタクスセントリバー)

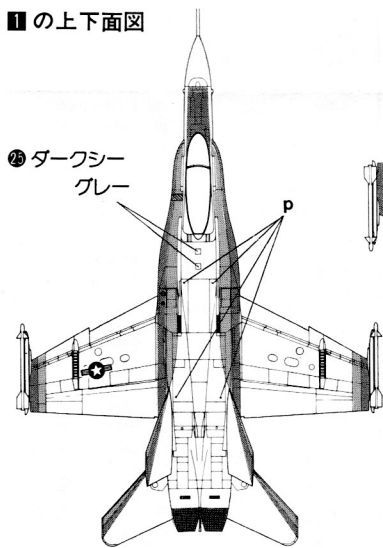
F-18A HORNET No.2・No.3 aircraft (NATC Patuxent River)

■ 2号機、3号機とも細部マークは同じです。

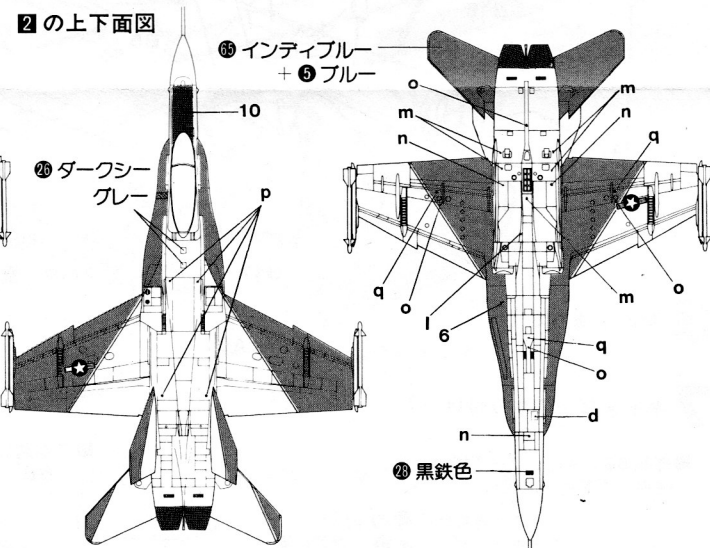
■ 細いストライブはデカルをご利用下さい。



① の上下面図



② の上下面図



F-18ホーネットの塗装について

F-18Aホーネットは1978年9月13日、白い機体に金とブルーのストライブが入ったスマートな姿でロールアウトしました。この時、注意書きは殆ど付いていませんでした。1号機~5号機のブルーは① インディブルに④ ブルーを混ぜた感じでした。(2:1~1:1)現在F-18Aホーネットは機体全面白で塗装されていますが、1982年頃からの航空母艦への配備では、F-14トムキャットのように機体全面グレーで塗装されるものと思われる。

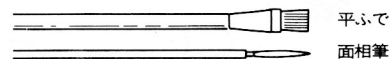
スライドマークのはり方

1. マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部分を切りとっておきます。
2. 水に20秒位浮かべてください。
3. マークを台紙からずらして所定の位置におき、台紙をずらして抜きとります。
4. マークの上からやわらかい布でおさえ、余分な水分と糊をおしだしてください。

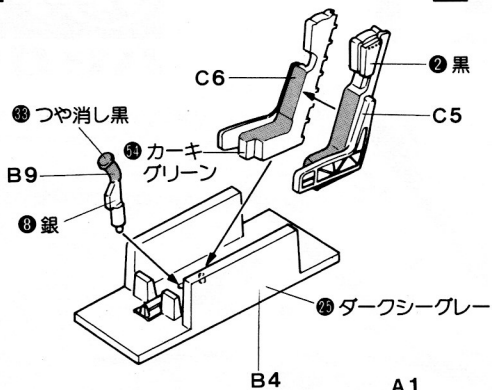


①~⑩の番号はモデルカラーの番号です。くみだてたらかならず色をぬってすばらしいモデルを作りましょう。

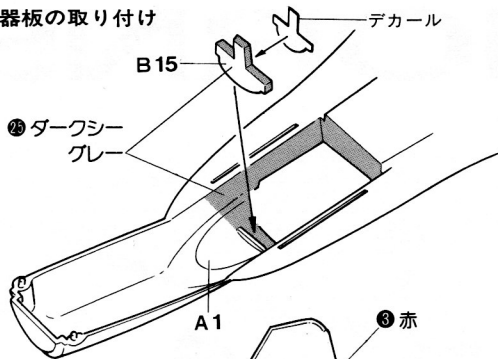
広い面積を塗装する場合は平ふででこまかいところは面相筆で塗装します。



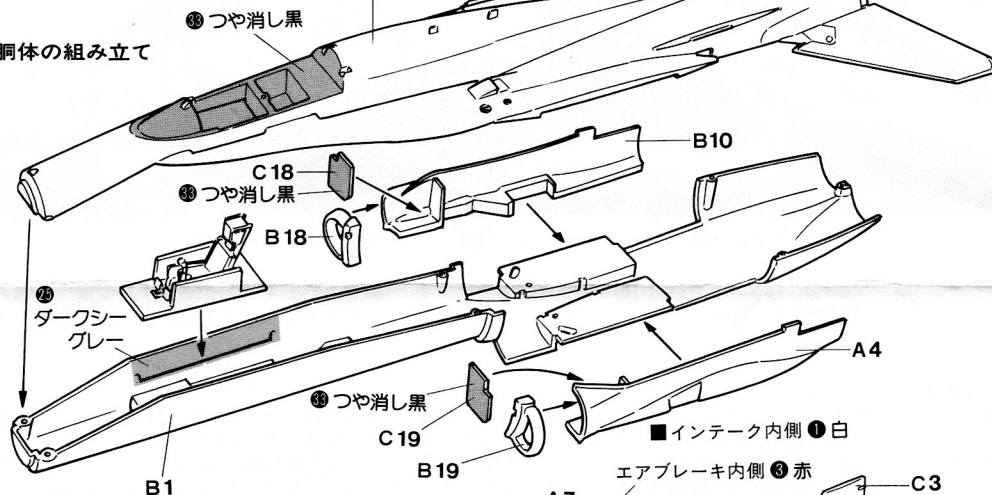
1 操縦席の組み立て



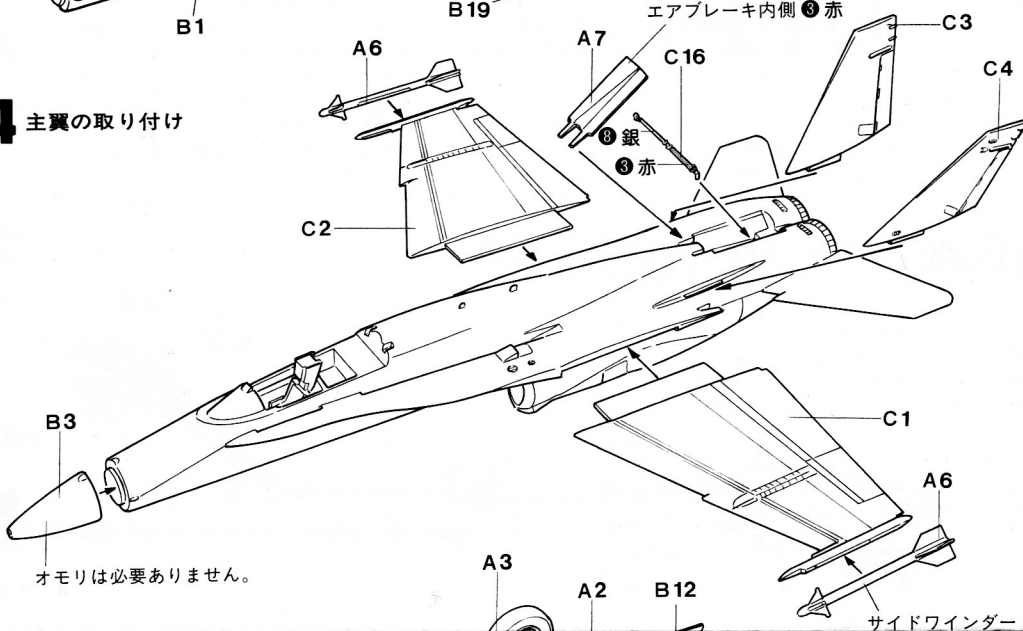
2 計器板の取り付け



3 胴体の組み立て



4 主翼の取り付け

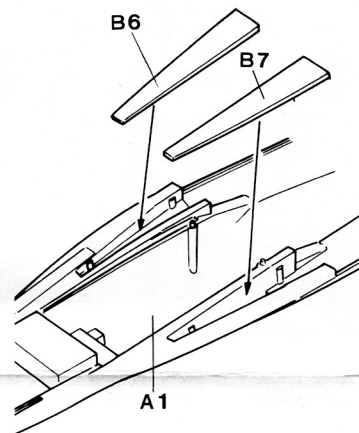


オモリは必要ありません。

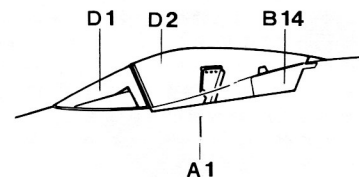
- ★くみだてるまえに
- 説明書をよく見て、指示に従って作ってください。
- 部品をランナーから切りはなす時はニッパー又は、カッターを使ってください。
- 接剤は組み立てる部品の両方に少しずつぬって接着して下さい。
- 接着する前にセロテープ等で仮に組んで形をたしかめて下さい。

2. フィレットカバーの取り付け

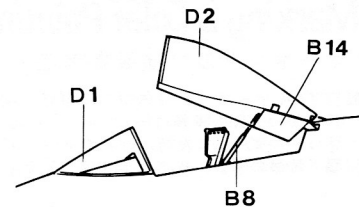
胴体の組み立てのまえにとりつけて下さい。



■キャノピーの閉状態



■キャノピーの開状態

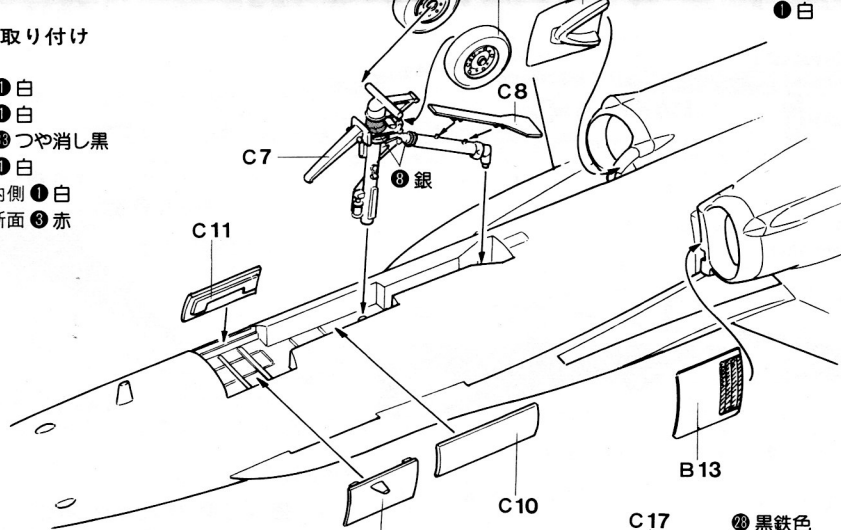


4. 垂直尾翼の取り付け角度は、下の図を参考にして下さい。

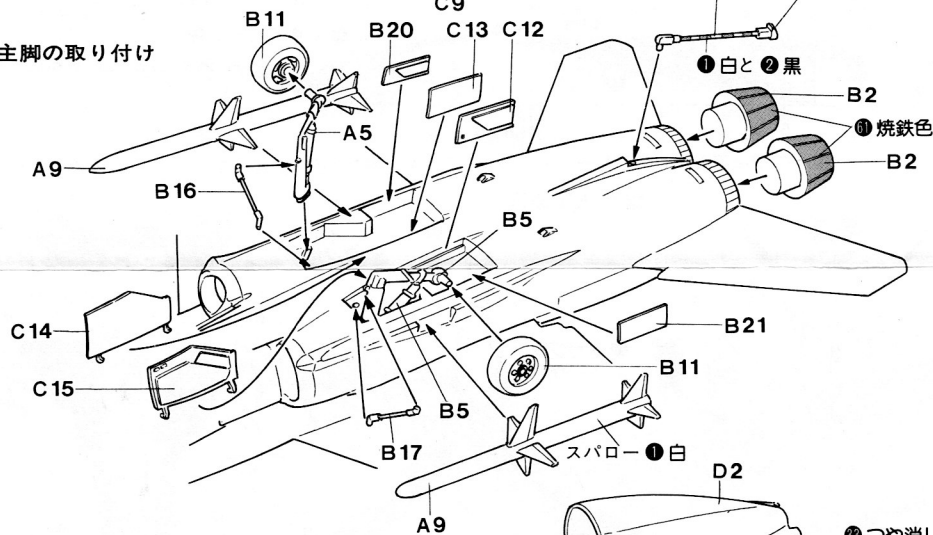
サイドウィンダー

5 前脚の取り付け

- 脚柱 ①白
 ホイール ①白
 タイヤ ③つや消し黒
 脚納庫 ①白
 脚カバー内側 ①白
 脚カバー断面 ③赤



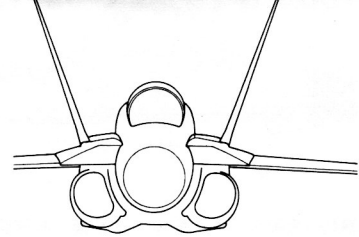
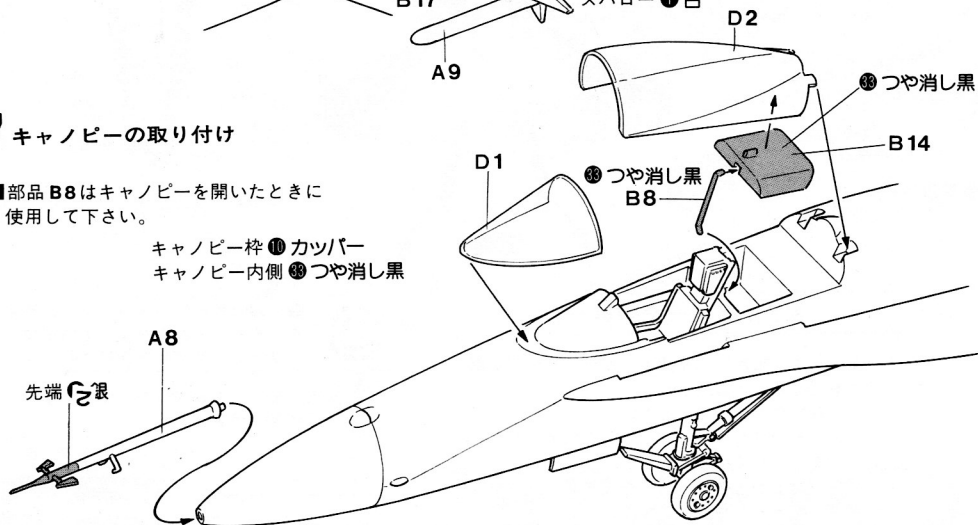
6 主脚の取り付け



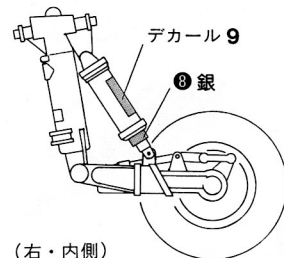
7 キャノピーの取り付け

■部品 B8 はキャノピーを開いたときに使用して下さい。

キャノピー枠 ①カッター
 キャノピー内側 ③つや消し黒



6. 主脚



(右・内側)

《部品番号および名称》

- | | | | |
|-----------------|--------------------|--------------------|-------------|
| A 部品 | | 19. インテーク(左) | |
| 1. 胴体(上) | 20. 主脚カバー(後・左) | 21. 主脚カバー(後・右) | |
| 2. 前車輪(右) | C 部品 | | |
| 3. 前車輪(左) | 1. 主翼(左) | 2. 主翼(右) | |
| 4. 胴体側面(左) | 6. サイドウィンドー | 7. エア・プレーキ | |
| 5. 主脚柱(左) | 8. 機首計測用アンテナ | 9. スパロー | |
| 6. サイドウィンドー | 1. 主翼(右) | 2. 主翼(左) | |
| 7. エア・プレーキ | 3. 垂直尾翼(右) | 4. 垂直尾翼(左) | |
| 8. 機首計測用アンテナ | 5. シート(左) | 6. シート(右) | |
| 9. スパロー | 7. 前脚柱 | 8. 前脚カバー(後) | |
| B 部品 | | 9. 前脚カバー(前・右) | |
| 1. 胴体(下) | 8. 前脚カバー(後) | 10. 前脚カバー(中) | |
| 2. 排気管 | 9. 前脚カバー(前・左) | 11. 前脚カバー(前・右) | |
| 3. ノーズコーン | 10. 前脚カバー(中) | 12. 主脚柱(後・左) | |
| 4. コックピット・フロア | 11. 前脚カバー(前・左) | 13. 主脚柱(後・右) | |
| 5. 主脚柱(右) | 12. 主脚柱(前・左) | 14. 主脚柱(前・右) | |
| 6. ストレッキ下面(左) | 13. 主脚柱(後・左) | 15. 主脚柱(前・右) | |
| 7. ストレッキ下面(右) | 14. 主脚柱(前・左) | 16. エアプレーキアクチュエーター | |
| 8. アクチュエーター | 15. 主脚柱(前・右) | 17. アレストイングフック | |
| 9. 操縦棒 | 16. エアプレーキアクチュエーター | 18. 胴体バルクヘッド(右) | |
| 10. 胴体側面(右) | 17. アレストイングフック | 19. 胴体バルクヘッド(左) | |
| 11. 主車輪 | 18. 胴体バルクヘッド(右) | D 部品(透明部品) | |
| 12. インテークランプ(左) | 19. 胴体バルクヘッド(左) | 1. キャノピー(前) | 2. キャノピー(後) |
| 13. インテークランプ(右) | E 部品(透明部品) | | |
| 14. キャノピー部品 | | | |
| 15. 計器盤 | | | |
| 16. 主脚アーム(左) | | | |
| 17. 主脚アーム(右) | | | |
| 18. インテーク(右) | | | |

家庭用品品質表示法による発着期品質表示
 取扱い上の注意 1. 幼児の手の届かないところに保存し、いたづらをしてほしくない様注意して下さい。
 2. 火気に注意し燃やさない様注意して下さい。
 3. 故意に吸わない様注意して下さい。
 表 示 者 SZ 3000 SZ 3006 SZ 5013